



# 北東中だより

全国学力状況調査

NO. 6



文責 仙洞田茂雄

## 平成27年度 全国学力状況調査結果

本年度の全国学力・学習状況調査は、4月21日に行われました。この調査は中学3年生を対象とし、大きく分けると「教科（国語・数学・理科）に関する問題」と「生活や学習環境に関わる質問紙調査」の2種類から成っています。また、教科に関する問題はそれぞれ知識に関するA問題と活用に関するB問題に分かれています。

8月に文部科学省から本校の結果が送付されてきました。本校でもこの調査の目的に則り、調査結果を分析し、課題等を知り改善に取り組むよう指導するとともに、学校としても授業や指導のあり方を見直し、更なる向上を目指します。

### 1 本校の状況

本校は、国語A B、数学A B、理科ともに全国の平均を大きく上回っており全体的には良好な結果といえる。質問紙についても好ましい回答が全国や県の平均を上回ったものが多くあった。

<参考>教科別平均正答率

	国語A正答率	国語B正答率	数学A正答率	数学B正答率
山梨県 平均	76.1	66.2	63.6	41.2
全 国 平均	75.8	65.8	64.4	41.6

	理科 正答率
山梨県 平均	54.1
全 国 平均	53.0



### 2 本校の主な課題

#### <国 語>

全国平均との比較では、本校の方がどの設問も正答率が高い。正答率からみるとB問題に課題があると言える。無回答率は低くなっている。

A問題は全体的に正答率が高く、今回の出題内容は理解していると言える。一方、B問題は全国平均を上回っているが、A問題に比べると正答率が低かった。

#### (正答率が50%を下回ったもの)

- 適切な語句を選択する 「たなびく雲の間から」(A問題)  
「たなびく」のという語句の意味を理解できず、別の選択肢を選んでしまった
- 「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する (A問題)  
「青さ」を名詞であると理解できなかった
- 資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか自分の考えを書く (B問題)  
社会にどのように関わっていきたいのか具体的に書くことができなかった
- 文章の最後の一文があった方がよいかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く (B問題)  
話の展開を適切に取り上げて、理由を書くことができなかった



#### (正答率が90%を上回ったもの)

- スピーチの途中で聞き手の反応を見てとった対応として適切なものを選択する (A問題)
  - 「なぜ、排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する (A問題)
  - 漢字を読む 「新聞に載る」(A問題)
  - 適切な語句を選択する 「気象予報士になりたい」(A問題)
  - 「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する (B問題)
- これ以外にA問題、B問題合わせて11の設問で90%を上回っていた



## <数 学>

全国平均との比較では、ほとんどの設問で本校の方が正答率が高い。作図に関する設問のみ、若干全国平均を下回った。無回答率に関しても、全国に比べると低くなっている。

A問題（基礎）で、本校の正答率が80%を超えている問題は、36問中15問（全国平均は9問）、B問題（応用）で、本校の正答率が50%を超えている問題は、15問中9問（全国平均は3問）となっており、北東中生が、全体としてまじめに学習に取り組むことができていることが成果として表れていると考えられる。

（細かい傾向について）

（A問題で特に生徒が得意としているところ）

- ・数式の計算問題
- ・空間図形の理解に関する問題
- ・関数の意味を理解する問題
- ・確率・統計に関わる問題

（A問題で生徒が苦手としているところ）

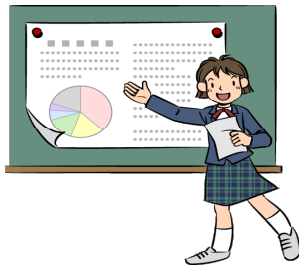
- ・数量関係を文字の式として表す問題
- ・証明の必要性と意味を理解する問題

（B問題で生徒が得意としているところ）

- ・整数に関し、問題場面における考察の対象を捉える問題
- ・図形の証明に関する問題

（B問題で生徒が特に苦手としているところ）

- ・考えや理由を自分の言葉で記述して解答する問題
- ・数学的な表現方法を用いて説明する問題



## <理 科>

全国平均と比較してみても、全体的に正答率は高く、基本的な知識の習得がうかがえる。また、地域柄、自然とふれあう機会が多く、自然事象や現象の観察への関心は高い。しかし、理科で学習し得た知識を活用して、課題解決に適する実験方法を計画することや、表やグラフからデータを読み取ったり、問われ方が変わってしまったりと間違いが多くなってしまうことから、知識を状況に合わせて活用できる力を高めていくような経験をどのように仕組んでいくかが今後の課題となるであろう。

## 3 教科における主な改善点

### <国 語>

- ・漢字や語句に関する学習では、暗記だけではなく学習した知識を活用し定着を図っていく
- ・品詞に関しては、例文を使って比較したり書き換えたりして、文の中で果たす役割の違いを確認できるように学習活動を仕組んでいく。
- ・説明的文章の要旨を捉える際に、文章の構成を踏まえたり、図や表と関連付けたりしながらの学習を進めている。今後は、文章の内容や筆者の意見を読み取るなどを通して、文章を要約したり要旨を捉えたりする力を育成していく。また、多様な情報を整理したり自分の考えとのつながりを確認したりすることで、考えを深めていきたい。そのためには、図書館やインターネットを活用した学習活動を取り入れていく。
- ・理由や根拠をもとにした自分の考えを述べる場面を数多く設定していく。

### <数 学>

- ・数学の用語の理解を深める学習を行い、数学用語や数学的な表現を用いることに慣れる機会を増やす。
- ・自分の言葉で「自分以外の人にもわかるような」説明ができるような機会を増やす。
- ・解法だけではなく、「なぜそうなるのか」という過程に着目させる課題を設定し、ノートに記述する指導を積極的に行う。
- ・新しい単元に入る際に、その単元に関連する既習内容を復習、確認する時間を設ける。学年が上がるに従って、より復習や確認する機会を増やし、大切にする。
- ・既習内容や理解した問題を「活用」して別の問題を解く機会を増やす。

### <理 科>

- ・知識を覚えるだけでなく、活用できる機会（実験観察や討議）を増やしていく。
- ・課題に対する自分の考え（予想など）を根拠をもって表現し合える機会を設定する。
- ・身のまわりの事象と授業で学習する知識を結びつけられるような課題設定を行っていく。
- ・日頃から科学技術に関する話題を挙げたり誰もが経験できる身近な現象を取り上げて関心を

- 高め、理科で学習した知識を活用することができる学習場面を設定する。
- ・科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習場面を設定する。
  - ・公式は覚えているが、苦手意識の高い質量パーセント濃度などの計算演習を行う機会をつくっていく。

#### 4 質問紙調査の主な特徴



全国学力学習状況調査の質問紙は次のような項目です

- 基本的な生活習慣、自分自身に関すること
- テレビ、ゲーム携帯電話等に関すること
- 学習に関すること、読書に関すること
- 家庭生活について、家庭学習に関すること
- 学校生活に関すること
- 地域に関すること
- 社会に対する興味関心
- 規範意識
- 総合的な学習の時間に対する関心・意欲・態度
- 言語活動の学習状況
- 指導状況
- 数学・理科に対する関心・意欲・態度

#### ◆これからも伸ばしたい◆

本校生徒の回答状況と山梨県及び全国の平均を比較してみると、ほぼ全ての項目で数値としてよい結果が表れている。

- 「学校に行くのが楽しいか」、「物事を話し合って決めているか」、「みんなで協力してうれしかったことがあるか」ということに関する質問項目では、特に肯定的な回答が見られた。
- 「学校での出来事を話す」、「保護者の方の学校行事への参加」に関する質問項目では、どちらも山梨県及び全国と比較してみても「話をしている」「よく来る」と回答している生徒の割合が高くなっている。
- 地域の行事への参加や地域への関心についても、よい方向で高い数値を示し、家庭・地域とのつながりを感じられる。学校・家庭・地域の連携が図られている本校の特色が表れている。今後は、学校で学んだことを地域で生かすことができるような生徒に育てていきたい。



#### ◆頑張っ努力したい◆

- 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」という項目については、9割を超える生徒が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答している。行事や部活動等の学校生活の中で、達成感や充実感を味わうことができていると考える。しかし、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という項目については、「当てはまる」と回答した生徒が全国平均は上回っているものの、山梨県の数値は下回っていた。「やればできる」「失敗を次へ生かす」という経験を学習や生活の中で多く重ねていけるよう指導をしていきたい。
- 「話すこと」については「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した生徒を含め割合はやや平均を上回っていた。『相手を意識した「伝え合い」の場』を更に、学校や家庭の中でつくっていくことが必要と考える。現在、全校で取り組んでいる言語活動や朝の会等でのスピーチ活動などを一層充実させていきたい。苦手意識につながらないような実践を心がけていきたい。
- 読書時間については「2時間以上」と回答する生徒の割合が山梨県及び全国と比較してみても高い。しかし、「10分以上、30分より少ない」と回答した割合も高く、朝読書等の取組みも工夫・継続していき、読書好きな生徒を育てていきたい。
- 学校及び地域の図書館の活用に関する項目では、「週に4回以上行く」と回答した生徒の割合も高く、県立図書館を有効に活用していることが伺える。環境を生かしながら、読書についてより多くの生徒が本に親しむことができるような環境作りを今後も心がけていきたい。
- 数学に関しては、分からなかったら他の方法を考えることが少ない傾向があり、これは公式を覚えるだけでとどまり、「なぜそうなるのか」という根拠を理解するまでに至っていないことが要因だと考えられる。
- 理科に関しては、授業での実験観察をする機会が少なく感じている生徒が全体平均よりもやや多く、「実際に検証していきたい」という意識が高いように見受けられる。
- 回答結果から本校の生徒は、宿題や復習等、与えられたことについてはよくこなしていることが伺えた。今後は、自分で課題を設定し、解決できるような主体性が求められる。生徒の興味関心を引き出し、生徒一人一人が日々充実した学習ができるよう、今後も主体的に学ぶ姿勢 育成を目指していきたい。

# 夢 叶うまで追い続ける

第52甲府市新人体育大会



## 陸上

入賞のみ(全種別、個人・総合ともに8位まで入賞)

総合

共通男子7位12点

共通女子3位44点

個人

共通男子

800m5位2.29.01 平出悠士(2-1)

3000m5位10.41.17 平出悠士(2-1)

4×100mR5位加藤・西川・小澤・平出

1年男子

100m7位13.44 西川響起(1-2)

200m6位27.99 西川響起(1-2)

100mH1位17.93 小澤明門(1-2)

3位19.00 加藤愛鷹(1-3)

走幅跳6位4m23 加藤愛鷹(1-3)

共通女子

800m3位2.38.72 大澤菜々穂(1-1)

3000m1位11.12.60 大澤菜々穂(1-1)

100mH1位18.26 松木千紗(2-1)

4位19.69 林実穂(2-2)

4×100mR3位松木・林・隠崎・大澤

走幅跳3位4m07 松木千紗(2-1)

4位4m05 林実穂(2-2)

1年女子

砲丸投3位5m77 隠崎けい(1-2)



## バスケ女

1回戦敗退  
北東14-89城南

## 野球

1回戦  
北東10-2上条

2回戦  
北東2-3南

## バスケ男

1回戦 北東52-42 駿台

2回戦 北東32-70 東

敗者戦 北東38-61 南

県大会代表戦 北東47-48 北

## サッカー

予選リーグ

富竹0-12 北東

南2-2 北東

2位パート 6位

駿台1-5 北東

城南2-0 北東

## 卓球

予選リーグ

敗退

2勝3敗

## 体操

保坂柚子巴

総合床平均台跳馬4人中4位

## バドミントン男

予選リーグ敗退

北東1-2 西

北東1-2 学院

## バドミントン女

予選リーグ敗退

北東1-2 北

北東0-3 東 北東2-1 城

南

## ソフトテニス女

個人:1位 吉田・榊原ペア

ベスト8 石田・小山ペア

団体:3位

## ソフトテニス男

個人:1ペア3回戦進出

団体:初戦敗退

## 柔道

団体:第3位(男子)

個人:男子-50kg級 第2位 山部伸乃輔 第3位 佐藤翼

-60kg級 第1位 数野永裕 -66kg級 第1位 佐藤宗

## テニス

男子

ダブルス

ベスト12 長内・高野ペア 県大会出場

女子

シングルス

ベスト12 赤池鮎希 県大会出場

伊藤なず菜 県大会出場

ダブルス

ベスト8 本多・村松ペア

県大会出場

## バレーボール

予選(Aパート)敗退

北東1-2 笛南 北東0-2 南

## 水泳

原季花

自由形200M 2位(2'23"13)

背泳ぎ50M 2位(35"21)

久保田啓介

自由形50M 3位(29'86)

自由形100M 3位(1'06"80)

★各部とも、猛暑の夏の練習から成果を上げながら、あらたな課題も見つけました。県大会、そしてこの冬の練習をいかし、来春にむけてほしいと思います。



話し合い活動をよく行った



保護者が学校行事によく参加してくれる



# 公開道徳授業

友達にうまく伝える。  
友達の話や意見を  
最後まで聞くことを  
努力したい

## 今後の予定

---

10月27日	始業式 避難訓練
28日	1・2年到達度テスト
1日	木曜授業
5日	北口清掃
10日	金曜授業
11日～12日	二葉祭 文化 体育部門
14日	学園祭のための繰り替え休日

---

